



# 委員会

## レポート

### 総務厚生常任委員会

#### 第8回

##### 一、調査年月日

平成26年11月13日

##### 二、調査項目

###### (1) 町民児童課所管

- ・電気料再値上げに伴う街路灯電気料への助成について
- ・出産育児一時金の見直しに伴う国民健康保険条例の一部改正について
- ・火葬場使用料の改正について
- ・狩場霊園及び西方霊苑管理料の改正について
- ・子ども・子育て支援新制度施行に伴う関係条例の制定について

##### 三、調査結果

街路灯電気料助成についての経緯や助成の概要、国民健康保険法施行令の一部改正により出産育児一時金が引き上げられたことに伴う国民健康

保険条例改正の概要について、火葬場・霊園の現状や、使用料の平準化を図ろうとする町の考え方等について調査をしました。

#### 第9回

##### 一、調査年月日

平成26年12月2日

##### 二、調査項目

###### (1) 総務課所管

- ・人事院勧告に伴う給与改定の実施について

###### (2) 町民児童課所管

- ・せたな町火葬場条例の一部を改正する条例について

###### (3) 保健福祉課所管

- ・せたな町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例(案)の概要について
- ・指定介護予防支援等の事業の人員、運営、効果的な支援の方法に関する基準を定め

る条例(案)の概要について  
 ・せたな町健康で安心して暮らせるまちづくり条例の一部を改正する条例について  
 三、調査結果

本年の人事院勧告のポイントや改定の概要、料金の平準化に向けて改正する火葬場条例の経過措置について、子ども・子育て支援法の施行に伴い新たに制定する予定の条例案の概要、消費税率引き上げに伴う健康で安心して暮らせるまちづくり条例の一部改正の概要等について調査をしました。

### 産業教育常任委員会

#### 第7回

##### 一、調査年月日

平成26年11月28日

##### 二、調査項目

###### (1) 産業振興課所管

- ・温泉ホテルきたひやまの経営状況について
- ・密漁対策について

###### (2) 瀬棚総合支所産業建設課所管

- ・小規模漁港統合について
- ・瀬棚港隣接地域の海浜地海

##### 砂の採取について

#### 三、調査結果

温泉ホテルきたひやまの平成25年度決算・平成26年度の中間決算、今年度の夏場の町内の主な密漁の発生事案・町の対応・関係機関等との連携について、第6回の本常任委員会において調査した、小規模漁港統合に関する北海道の考えや漁業者からの聞き取り状況、海砂を採取する場所、予算等の事業の概要について調査しました。

#### 第8回

##### 一、調査年月日

平成26年12月4日

##### 二、調査項目

###### (1) 建設水道課所管

- ・町道の路線認定について
- ・町道の路線廃止について

###### (2) 教育委員会所管

- ・学校給食費の改定について

##### 三、調査結果

町道の路線認定2路線、路線廃止3路線について、檜山渡島管内市町村の給食費値上げの状況、改定案について調査しました。

町道の路線認定、路線廃止については左表のとおりとなります。

#### 路線認定

路線名	起点	終点	全延長
添泊岬線	大成区富磯419番3地先	大成区富磯423番地先	約134m
豊岡鍋坂線支線3号線	北檜山区豊岡253番21地先	北檜山区豊岡253番15地先	約63m

#### 路線廃止

路線名	起点	終点	全延長
役場環状1号線	大成区都429番地先	大成区都430番地先	約47m
役場環状2号線	大成区都429番地先	大成区都430番地先	約39m
役場環状3号線	大成区都429番地先	大成区都430番地先	約34m

第6回

一、調査年月日

平成26年11月11日

二、調査項目

・議会だより38号のゲラ編集について

まちづくり計画  
調査特別委員会

一、調査事件

・温泉施設の今後のあり方について

二、調査経過

本件は、平成25年10月8日開催の第20回まちづくり計画調査特別委員会において付託され、現地調査を含む12回の調査を行い、平成26年12月18日に国民宿舎あわび山荘の今後のあり方について議長へ最終報告をしました。

三、調査結果

(1)町の方針

①温泉施設は引き続き、維持継続する方針である。

②あわび山荘の存続について

は、利用可能な期間は運営を図るが、建て替え等に関しては「町が建て替えることはしない。経営についても民間参入を望む。」としているが、その際の支援は考えている。

(2)一般財団法人貝取潤温泉公社の方針

①あわび山荘の建て替えは、町が行い存続を望む。

②あわび山荘の存続をするためには、今後経営改善を図りながら、収支の試算を行う時間が必要である。

(3)調査結果

地域経済への影響等計り知れないものがあるので、町と一般財団法人貝取潤温泉公社において、現時点で結論付けることなく両者の方針を踏まえ、今後の推移を見極めながら、十分協議されるよう望むものである。

なお、温泉ホテルきたひやまの改修計画、大成国民温泉保養センターの閉鎖及び同施設閉鎖後の国民宿舎あわび山荘の温泉施設使用について、町民いこいの家の閉鎖及び同

施設閉鎖後の温泉ホテルきたひやまの温泉施設利用については平成25年第10回臨時会、町内温泉施設の料金改定及び統一については平成25年第4回定例会において報告済みです。

一、調査事件

・町有施設について

二、調査経過

本件は、現地調査を含め7回の調査を行い、平成26年12月18日に議長へ最終報告をしました。

三、調査結果

過疎地域自立促進特別事業（老朽化施設防犯・防災環境対策事業）計画案記載の14施設について平成27年度に解体する必要があることを調査しました。

なお、平成25年第1回定例会において24施設、平成25年第4回定例会において35施設について解体する必要がある旨議長へ報告済みです。

行政視察調査報告

まちづくり計画調査特別委員会では行政視察調査を行いましたので内容を要約してお知らせします。

1 派遣委員

委員長 大野 一男  
副委員長 平澤 等  
委員 熊野 主税  
" 本多 浩  
" 小平 久  
" 澤田 光子  
" 大湯 圓郷

○津波被害の概要

・最大津波高…14.8m  
・浸水区域…320ha  
・被害区域…240ha  
○人口…1万14人  
○死者…569人  
○死亡認定者…255人  
（平成26年1月31日時点）

2 日程

10月7日～9日

○行方不明者…3人

3 目的

○住家被害数

東日本大震災被害を受けた自治体・地域を行政視察し、被災した地域の被害状況、復興に向けた取り組み、今後の防災対策・津波対策について調査することにより、今後起こりうる震災に向けた、本町の防災対策・震災対策等に資することを目的とする。

5720人

2 ライフラインの被害状況

・ライフラインについては、ほぼ壊滅状態となり、全てのライフラインの全域復旧に半年以上を要している。

◎視察先

◇宮城県牡鹿郡女川町◇

1 地震・津波の概要・被害状況